

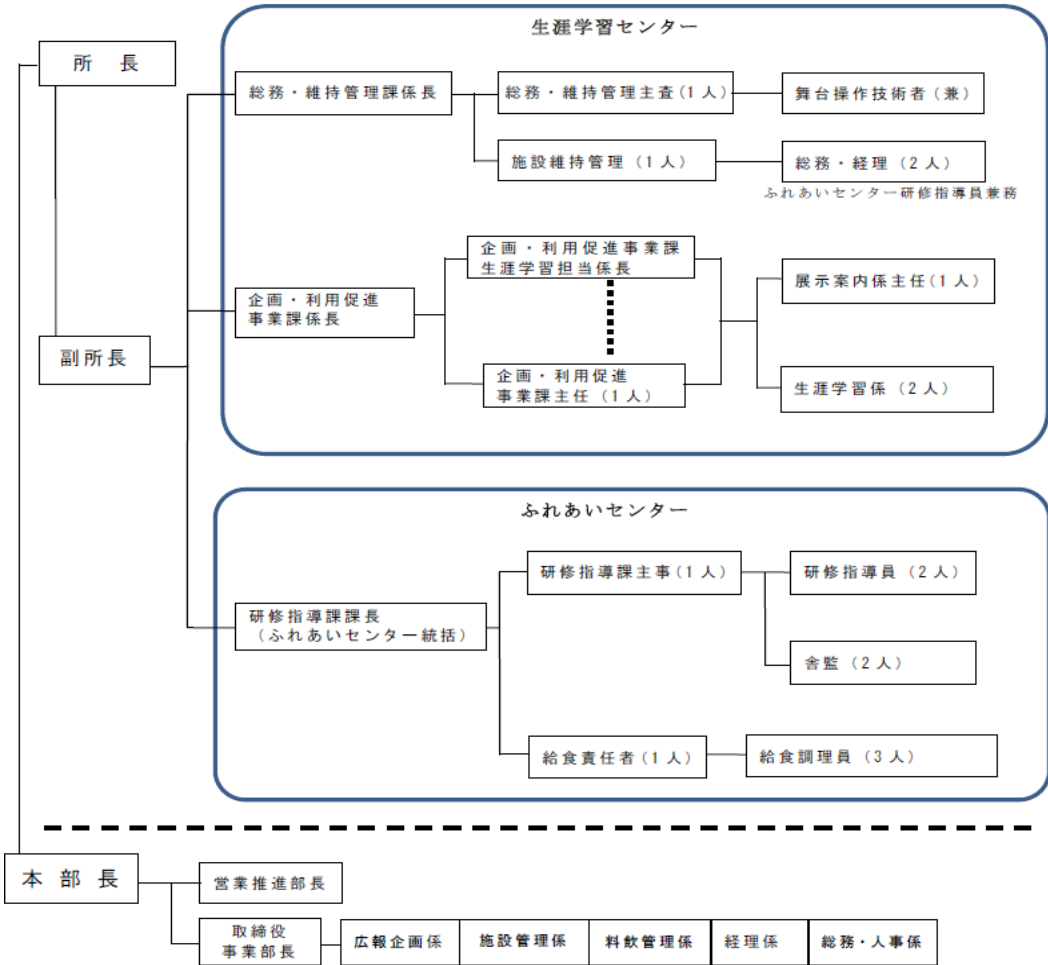
令和5年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和6年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県生涯学習センター (平成3年4月1日)	所在地 電 話 H P	愛媛県松山市上野町甲560番地 089-963-2111 http://www.i-manabi.jp/			
県所管課	観光スポーツ文化局まなび推進課	指定管理者の名称	株式会社レスパスココーポレーション			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	利用料金制	○	あり		なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の生涯にわたる学習活動を促進し、及び援助するために必要な学習情報の提供、調査研究、指導者の養成、学習機会の提供等の各種事業の実施及び施設の提供	施設の外観
施設内容	愛媛人物博物館、パソコン演習室、第1～5研修室、大研修室、ミーティングルーム、演劇レッスン室、音楽レッスン室、県民小劇場、アトリウム	
指定管理者が行う業務	○生涯学習センターの事業の実施に関する業務(学習情報の収集及び提供、生涯学習に関する学習機会の提供等) ○生涯学習センターの利用の許可に関する業務 ○生涯学習センターの利用に係る料金の収受に関する業務 ○生涯学習センターの利用の促進に関する業務 ○生涯学習センターの施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ○その他知事が定める業務 ○生涯学習センターの資料の特別利用に係る料金の収納事務に関する業務	
施設の管理体制		

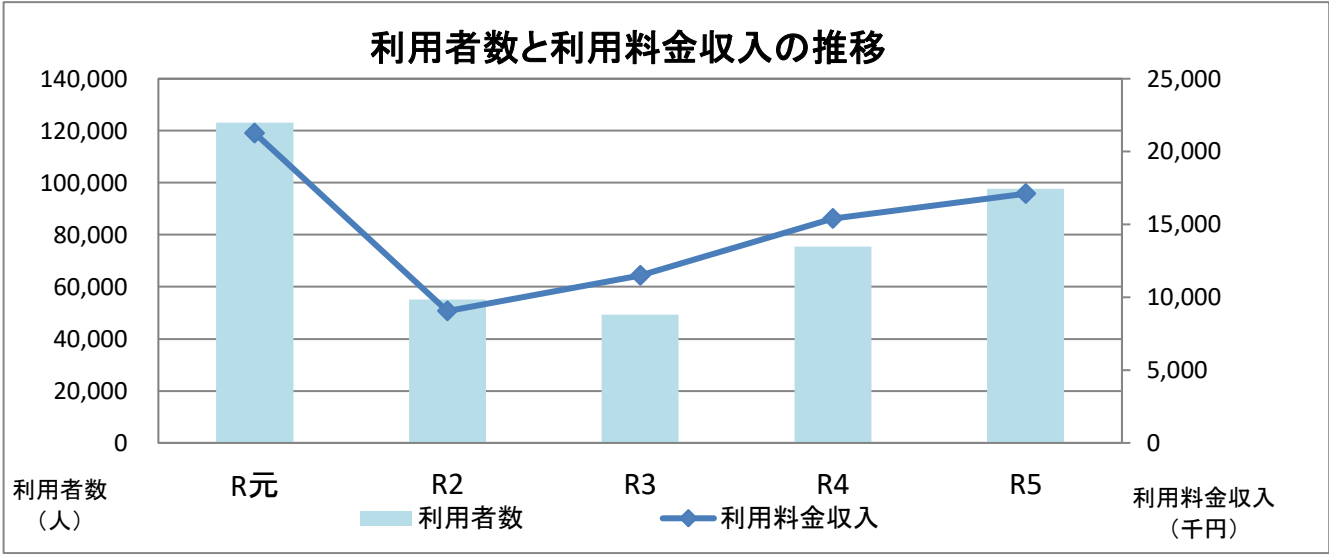
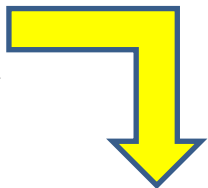
3 検証のための指標の推移
(1)利用者数

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年 間 利 用 者 数	123,101 人	55,069 人	49,400 人	75,511 人	97,675 人

(2)収支状況

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入 (A)	219,110 千円	185,812 千円	186,644 千円	197,444 千円	216,757 千円
委 託 料	164,121 千円	163,371 千円	163,371 千円	163,372 千円	183,632 千円
委 託 料 (補 正 額) ※ 1	195 千円	4,278 千円	2,683 千円	3,726 千円	0 千円
利 用 料 金 収 入	21,270 千円	9,049 千円	11,482 千円	15,399 千円	17,111 千円
そ の 他 収 入	33,524 千円	9,114 千円	9,108 千円	14,947 千円	16,014 千円
支 出 (B)	218,966 千円	185,812 千円	186,644 千円	197,444 千円	212,673 千円
事 業 費	37,836 千円	19,870 千円	21,637 千円	24,229 千円	29,064 千円
維 持 管 理 費	51,984 千円	50,189 千円	45,927 千円	49,437 千円	59,700 千円
人 件 費	83,951 千円	79,674 千円	77,584 千円	82,857 千円	79,877 千円
そ の 他 支 出	45,195 千円	36,079 千円	41,496 千円	40,921 千円	44,032 千円
収 (A) - 支 (B)	144 千円	0 千円	0 千円	0 千円	4,084 千円

(※1)新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載
(※2)表中の各数値について、一体的管理を行うえひめ青少年ふれあいセンターと合わせた金額を記載



(※2)収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

令和5年5月8日から新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、基本的な感染対策実施の下、5類感染症移行直後から各研修室等の定員を通常に戻す等の対応を実施した。その効果もあり、施設総利用者数が前年比129.4%となり、利用料金収入も前年比111.1%となった。

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○従来の宣伝広報による利用促進のほか、学習相談として、県が行う地域学に関する情報「えひめの記憶」等の相談に、県駐在職員と連携をとり迅速な回答を行った。 ○生涯学習情報提供システムの活用として、県作成の優れた建築物等を紹介する「えひめの近代建築データベース」をPRした。 ○マスコットキャラクター「Q之助」をデザインしたオリジナル商品として「BOXティッシュ」を新たに作成しスタンプラリーなどで無料配布を始めた。		新しい講座をはじめとして、坊ちゃん劇場とコラボしたイベントやダンスをテーマとした新たなイベントを始めるなど、施設がより利用しやすくなるような事業展開を心がけている。愛媛県生涯学習推進計画(第五次)で掲げる生涯学習情報システムでの生涯学習講師の登録者数や「学び舎えひめ」対象講座の登録数が目標を達成するなど、適切に利便性及びサービス向上に努めていると評価できる。	評 価
			A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○高齢者駐車場改修を実施し、高齢者が安全に利用できるよう車両侵入口の拡張工事を行い利便性の向上に努めた。 ○アトリウムフロアの煉瓦補修を行い、凸凹部分の補修により利用者が安心・安全に利用できるよう改善した。 ○天井照明のLED化により節電だけでなく利用者が快適に利用できるよう改修工事を実施した。 ○演劇レッスン室に可動式のレッスンバーを導入し、バレエのレッスン等の利用促進を図った。		大規模修繕を県と協議して効果的に実施している。施設の老朽化が進行する中であって、早急な修繕が必要になった場合にも迅速に対応し利用者の安全性・快適性の確保に大きく貢献している。	評 価
			A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

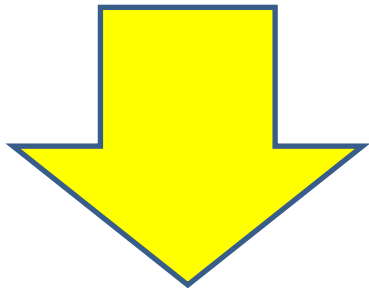
指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○アンケート箱の設置及びホームページでの問い合わせ、また講座での要望の聞き取りを行い対応した。アンケート回答数は、822件であり、内訳は、委託事業コミュニティ・カレッジ751件、図書室5件、貸館利用者66件であった。		委託事業コミュニティ・カレッジの回答については、1年間まとめてホームページ上で公開し、その他については、月毎にまとめてホームページ上で公開しているほか利用者の意見を取り入れた事業実施に努めている。	評 価
			A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○ホームページでは、講座・事業・イベント情報等をタイムリーに掲載し情報を提供した。事業等に関し、ピックアップコーナーを設け特にアピールした。 ○メディア広告では、愛媛県広報誌「愛顔のえひめ」他、県内新聞社、放送関係、情報誌等プレスリリースを行い、告知協力を依頼した。 ○施設の利用促進及び認知度向上を目的として、あいテレビ「お天気フィラー」での広報を実施した。 ○愛媛経済レポートで毎月1回、愛媛の偉人紹介及び貸館の案内告知を行った。愛媛CATVとの連携で、たうんチャンネル「すごいぞ！愛媛偉人発見！」にて毎月2名の偉人を紹介し、愛媛人物博物館の認知度向上を図った。		愛媛人物博物館で実施する企画展などは、愛媛人物博物館来館名簿に記載の方へ案内DMを発送している。また、夏休み・冬休み企画は別途チラシを作成して県内小中学校に配布し参加を呼び掛けるなど、集客を図る広報宣伝を積極的に実施している。愛媛県内の生涯学習施設と連携して、「学び舎えひめ悠々大学」対象講座の情報を広く収集し県民に対し発信するなど、施設が担っている役割を果たしている。	評 価
			A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括	
指定管理者制度導入後、マスコットキャラクター設定やグッズ販売、積極的な広報活動、各種事業の充実(生涯学習講座、企画展、生涯学習ふれあいフェスタ)、アンケートも行い、利用者のニーズに沿った事業実施に努め、直営時代に比べ、利用者・利用収入ともに大幅に増加し、かつ、年々増加傾向を維持してきた。令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、令和2年度及び令和3年度には令和元年度の半分にまで減少した利用者数及び利用料金収入は令和元年度の約8割まで回復した。今後は、基本的な感染対策を実施しながら、利用者の増加を目指し、貸館利用者のリピーターの確保とともに、新規利用者の開拓に力を入れていく必要がある。	